

ベストメンテナンスで機器もリフレッシュ!

長期停止時の機器メンテナンスのポイント②

トレリーフプロセサー

FTP-640II / FTP-640IID

洗浄・液仕込みの際は、必ずゴム手袋、保護メガネおよびゴムエプロンを使用してください。また、電源は OFF してください。

●長期停止前の準備

1. 本体の電源スイッチおよび元電源ブレーカーを OFF してください。また、パワーシスターン接続機は電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 水漏れ事故防止のため、必ず給水元栓を閉めてください。
3. リンスパイプ、上側の搬送ローラーおよびスポンジローラーを取り外し、清掃してください。清掃後は風通しの良い場所で保管します。保管する際はローラー表面が直接床などに接触しないようにするため、ローラー軸の両端で受け、ローラーを浮かせるようにします。
4. ブラシ部駆動ユニットのハンドル両端にあるロックを外し、現像ブラシにかかる圧を軽くしておきます。
5. 洗い出し槽、現像ブラシ等、装置内を清掃してください。また、カバーを開けたままにして装置内を乾燥させます。乾燥後はカバーを閉じてください。
6. 洗い出し液をタンクから抜き取り、回収してください。

●長期停止後の運転

1. 給水元栓を開けてください。
2. 現像ブラシをロックしてセットしてください。
3. 搬送ローラー、スポンジローラーおよびリンスパイプをセットしてください。スポンジローラーが硬化している場合は、水に浸してスポンジローラーを軟らかくします。
4. パワーシスターン接続機は電源プラグをコンセントに接続してください。また、元電源ブレーカーと本体の電源スイッチを ON します。
5. 洗い出し液タンクに水が供給されていることを確認してください。
6. 洗い出し液タンクに界面活性剤（パーソフト）を規定量添加してください。
7. 洗い出し液が 40℃に加熱され、処理可能であることを確認してください。
8. セッターに露光済みの版をセットし、処理します。また、洗い出し状態および処理品質を確認してください。
※操作の詳細は取扱説明書を参照してください。

サイン用 LED UV プリンター

Acuity LED 1600

ゴム手袋と保護メガネを着用してください。

●長期停止前の準備

1. セットしてあるメディアを取り除いてください。
 2. スワブまたは専用クロスを使用し、ヘッド面を清掃してください。
 3. キャリッジ下面を専用クロスで清掃してください。
 4. ワイパーを専用クロスで清掃してください。
 5. ゴムキャップに洗浄液を垂らし、インク排路とゴムキャップを清掃します。
 6. 廃インクタンク内のインクを処分しアラームをリセットしてください。
 7. 綿棒を使用し、紙幅センサーを清掃してください。
 8. ピンチローラーを清掃してください。
 9. メディア押さえを清掃してください。
 10. 本体外装を清掃してください。
※各項目の詳細は「Acuity LED 1600 取扱説明書」を参照してください。
- 《注意》
- ① 使用しない期間が 2 週間以内の場合は、「白インク循環機能」を ON にして、本機の側面（手前側）にある電源ボタンを切ってください。
 - ② 使用しない期間が 2 週間以上になる場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

●長期停止後の運転

1. 本機の電源を入れ通常通り起動させます。
2. スワブまたは専用クロスでヘッド面を清掃してください。
3. 全ての色においてクリーニングを実施してください。
4. メディアをセットしてください。
5. テスト作図を行い、ノズルのカスレや抜けがないか確認してください。
6. 印字結果に異常が見られた場合はクリーニングを再度実施してください。
7. RIP からデータを印刷し、問題がないか確認してください。

デジタルカラープルーフシステム

PRIMOJET-S / PRIMOJET-E







PRIMOJET-G / PRIMOJET-XG

●長期停止前の準備

1. 基準となる絵柄（お客様の管理チャート、PRIMO ソフトサポートチャートなど）を出力します。
2. プリンター用紙のロックを外し、用紙を巻き取ります。長時間、用紙の同じ場所をロックしたままにしておきますと、ロック跡がムラの原因になります。
3. 設定のバックアップをとっておくことをお勧めします。
 - ・PRIMO-S/E の場合 : Application / 書庫、File / 全てのバックアップを実行する
 - ・PRIMO-G/XG の場合 : システム / 環境のバックアップ / 作成

●長期停止後の運転

1. プリンターからインクを取り出し、よく振って再装填してください。顔料の沈殿の影響を軽減します。
2. 用紙を装着し、ロックします。
3. プリンターメニューで「クリーニング」を実施します。
4. プリンターメニューで「ノズルチェック」を行い、ノズル抜けがないことを確認してください。
ノズル抜けがある場合、再度「クリーニング」または「パワークリーニング」を行ってください。
5. PRIMO-G、PRIMO-XG に関しては、キャリブレーションを実行してください。
※操作の詳細は取扱説明書を参照してください。
6. 長期停止前に出力しておいた基準となる絵柄（お客様の管理チャート、PRIMO ソフトサポートチャートなど）と同じものを出力し、休み前と近似していることを確認します。
ソフトサポートに加入されているお客様は、前後の違いの確認に関してプルーフ診断サービスをご利用いただくことができます。

 警告	
	点検時の電源 装置の点検時には必ず電源スイッチを切ってください。
 注意	
  	保護具着用 現像液、定着液、その他の処理薬品を取扱うときは、保護メガネ、ゴム手袋、ゴムエプロンを着用してください。

サイン用 UV インクジェットプレス

LuxelJet / Acuity Select

プリントヘッドの清掃の際は、ゴム手袋と保護メガネを着用してください。

●長期停止前の準備（3～14日停止時）

1. ランプを OFF します。
2. パージを 2 回行います。
3. メンテナンスステーションのカバーを閉じ、インクリザーバーがフルになるまで待ちます。
4. パージを 2 回行います。
5. 通常のプリントヘッドの清掃を行います。
6. スワブでプリントヘッド表面を清掃します。
7. インクヒーターを OFF します。
8. コントローラー画面の「設定」タブで「プリンター」内の「自動ウォームアップ」が OFF になっていることを確認します。
《注意》 電源は常時通電してください。
電源を OFF のままにしておきますと、プリントヘッドに障害が発生することがあります。

●長期停止後の運転（3～14日停止時）

1. コントローラー画面の「設定」タブで「プリンター」内の「自動ウォームアップ」を ON に設定します。
2. 設定温度に到達後、スワブでプリントヘッド表面を清掃します。
3. 通常のプリントヘッドの清掃を実施後、ノズルチェックパターンを出力し、ノズル欠けが無いことを確認します。

《15日以上停止する場合について》

長期停止のための準備作業と停止後の立ち上げ作業が必要となります。サービス担当者にご相談ください。